

「五月橋」は、大正15年に呉市の中心部を流れる堺川に架けられ、交通の要として利用されてきたが、時代の経過とともに老朽化したため、昭和63年度から平成元年度にかけて全面的な改修が行われた。

この改修工事により、歩道部分は拡幅され、煉瓦調タイルが敷き詰められ、併せて花壇が配置されるとともに、モニュメントとして懐古調のガス灯が設置された。

こうして生まれ変わった五月橋は、淡い光を発しながら、行き交う人々にいこいと潤いを与えている。



所在地	広島県呉市中央 2～3丁目
諸元	延長： 約70m（橋梁部 32m）、 幅員25m
関係する施設など	ガス灯、花壇
材料	煉瓦調タイル